

総合給食センター基本計画は適正なのか



荒木田 俊一 議員

教育長 市所有地を候補地として検討したものである

ユニバーサルツーリズムへの取組みの課題と進め方について

質問 ユニバーサルツーリズムへの取組みの課題と進め方は現状で良いのか。

答弁 推進のために地域おこし協力隊員が2月から観光課で職務を開始している。

一番の課題として、市民や民間の方々から協力を頂いたが、市民を支える立場の市役所が、行動を起こすことが重要で、職員の意識転換を進めていく。それを見て理解していただける状況をつくってきたい。

総合給食センター基本計画は適正なのか

質問 総合給食センター基本計画について伺う。この計画と市内学校適正配置はリンクしないのか。

適正配置の計画後に、給食センター計画があるべきと思うがどうか。

答弁（教育長） 学校統合等の再編が行われる可能性はあるが、提供食数に変動はないと現時点では考えている。学校数の減少が今後考えられる。

配送ルートの変更、食缶とかコンテナ数の変更が必要となってくるので、しっかり考



■総合給食センター建設候補地の西木工業団地内



■築30年の角館給食センター

えていく。

これらについては、基本設計の段階、政策策定段階で、学校適正配置の計画とリンクして対応していきたい。

質問 28年12月作成された基本計画の表記に、現在使用している角館病院の場所を、跡地として表記している。建設候補地としてあげている4ヶ所には、建設不可能な場所が3ヶ所含まれている。

この基本計画は適正なのか。この程度の計画で、13億円ともいわれている事業がスタートできるのか。

答弁（教育長） 基本計画の性格上、市が所有する土地のうち、可能性のある候補地を広く取り上げて、検討したも

のである。

跡地という表記は、公文書と同様の扱いを考えた時に、不適切であり申し訳ない。

質問 病院跡地となる場所には、工場とみなされる給食センターは建てられないのか。私が調べた限りでは、不可能ではないと思うがどうか。

答弁 都市計画上、無理と理解していたが、その後、県の審査会に諮れば不可能ではない事がわかった。しかし、平成32年の合併特例債を目標にしているの、時間的に厳しいと思う。

文化財行政について

質問 市内には、多くの文化財がある。中には古文書の解読グループが、佐竹北家日記を解読している。それらを知ってもらおう努力をしているのか。

答弁（教育長） 文化財に光を当て、市民に理解頂けるような機会を設け、展示等を工夫する。過去に文化財の本を作ろうと取組んだが、写真撮影でストップしている。今後、しっかりと取組んでいきたい。

(熊谷一夫記)

用語解説

・ユニバーサルツーリズム…高齢や障がい等の有無にかかわらず、誰もが安心して気兼ねなく旅行を楽しむことができる環境。

コンビニ交付サービスの導入を

熊谷一夫 議員



市長

平成30年度の導入に向け準備を進める



■昨年設置された秋田市版ネウボラの案内板

**妊産から子育てまで
ワンストップ窓口
「仙北市版ネウボラ」
の開設を**

質問 妊産から子育てまでの本市における窓口と現状「仙北市版ネウボラ」の開設に関する見解について伺う。

答弁 保健課では、母子手帳の交付を受け、こんにちは赤ちゃん訪問（生後2ヶ月）を実施している。

市民課は医療費助成等、子育て推進課は誕生祝金支給や保育施設を運営している。

家庭援護係では、相談員2名を配置して子育てに関する悩み相談を行っている。昨年

からネウボラ開設に向けて協議が始まり、保健師がネウボラ研修に参加している。分散している各課の業務を集約し、ワンストップのサービス窓口が効果的と思う。

平成29年度中にネウボラの看板を掲げる事ができると思っている。

仙北市の 業務継続計画 (BCP)を策定せよ

質問 昨年の熊本地震では、5市町で本庁舎が崩壊し、被災者支援に支障をきたした。

そこで、本市のBCP策定に関して、以下の6要素と1項目について伺う。

- ①本市の業務継続計画策定は
- ②市長不在時の代行順位と職員の参集体制
- ③本庁舎使用不可能時の代替庁舎の特定
- ④電気、水、食料の確保
- ⑤災害時の多様な通信手段の確保
- ⑥重要な行政データのバックアップ
- ⑦災害時の防災担当者の対応人員

答弁 6要素の各項目については、参集体制や電気・水・食料の確保、バックアップ体制など確保されているが、BCPの策定はできていない。

平成29年度内に6要素の方向性を取りまとめ、各担当課内の調整を図り策定作業を進めていく。

コンビニ交付 サービスの導入を

質問 住民の利便性を高め、ニーズに応える為にもコンビニ交付や納付サービスを導入すべきである。総務省の特別交付税措置があるうちにと考えるがどうか。

答弁 マイナンバーカード所有者を対象に、コンビニでの証明書交付や市税収納できるようにする。

システム構築費は、全国平均約1600万円、総事業費の2分の1が特別交付税措置できる平成30年度の導入に向け準備を進める。

小中学校のトイレの 洋式化整備を早急に

質問 本市の小中学校におけるトイレ洋式化率は何か。

学校施設の不便さによりトイレを我慢することは良くない。災害時に避難所ともなる学校のトイレ洋式化整備を早急に進めるべきと考えるがどうか。

答弁（教育長） 市内12校の洋式化率は43.2%。小中学校の義務教育段階で排泄を我慢するような事はあってはならない。

児童生徒、保護者、教職員等の声に耳を傾けて、しっかりと対応していきたい。災害時の避難場所としては、一定の洋式トイレ設備が必要と考える。市長部局、総合防災課とも協議しながら進めていきたい。

（田口寿宜記）



■コンビニで受け取れる各種証明書サービス機（機種の一例）

用語解説

・ネウボラ…フィンランド語で「助言の場」の意味。妊産から就学までの相談、支援を切れ目なくサポートするワンストップ窓口。
 ・BCP(業務継続計画)…自然災害、大火災、テロ対策等の緊急事態時に事業活動をいち早く再開し、継続する為策定する計画。

誰の為の何の為の特区なのか
明確なビジョンを示せ

田口 寿宜 議員



市長 広報等を活用し理解を広めていきたい

雇用創出・企業誘致
と移住・定住・子育て
支援策を

質問 それぞれの施策ではあるが、人口を少しでも増やす上では、有機的に結び付けて展開していく事が求められている。各部課、横のつながりをしっかりと持ち、総合計画・総合戦略との整合性を図りながら強力に進めるべきではないか。

答弁 一つの部局で完結してしまい、他の部局と結合する事で、初めて効果が発揮出来る事に、あまり重きを置いていなかった事に反省している。

人口減少に歯止めを掛ける為には、市はもちろんであるが、市民の皆様のご協力がなければ叶うものではない。仙北市が一体となって本気で立ち向かう事が重要である。

たとえば、職員数が少なくなってもそれを補う組織力を強化して課題の解決に向かいたい。

地方創生・
近未来技術実証特区
に明確なビジョンを

質問 少なからず税金を投入して取り組んでいる特区。誰の為の何のための特区なのか、明確なビジョンを示さない限り、市民の理解を得る事は難しいと感じる。この事について、当局の所見を伺う。

答弁 国・自治体の連携の下、現在の規制を改革・緩和をし、ビジネス展開がしやすくなる環境をつくる。

その事から生まれた利益は、民間の方々のものになり、総じて市民の利益につながる



■春の観光シーズン到来(刺巻水ばししょう祭り)

という考え方であるが、実現までには至っていない。

しかし、平成29年度は小さな成功事例を幾つかお見せする事が出来るように取り組みたい。また、特区について、市民の方々との情報共有の場を創ると共に、広報を活用し理解を広めていきたい。

観光振興策を示せ

質問 平成29年度は、本市において多数のイベントが開催され、多くのお客様をお迎えする。単にイベントで終わらせるのではなく、関係機関との連携の下、本市の魅力を最大限伝え、リピーターを増やす事も同時に行うべきと考えがどうか。

答弁 これまでの誘客宣伝効果が現れ、通常であれば県庁所在地等で開催される事が多いイベントなどであっても、海外や全国各地からは是非、仙北市で開催したいというオファーを多数いただいている。そうした状況から、仙北

市の魅力が認知されて来ている手応えを感じている。

仙北市を訪れる観光客の方々は勿論、各種大会等でご来場いただく方々に対しても、パンフレット、映像、SNS等を最大限活用すると共に、市民を挙げての真心のこもったおもてなし活動を更に強化をし、単にイベントで終わる事なく、また来ようと思っただけでなく、関係機関と連携をとり継続的に取り組まなければならぬ。

(八柳良太郎記)



■市民の為になる特区を!(ドローン国際競技会)



平岡 裕子 議員

イベント会場に「こどものえき」を。

市長

何よりも安全・安心が大切。研究させていただく時間をいただきたい。

「こどものえき」の充実を

質問 現在、市には田沢湖図書館をはじめ十三か所に「こどものえき」がある。野外イベントなどに使用できる「簡易こどものえき」を設置できないか。

答弁 サービスの向上対策として多数の施設内への設置が優先されるべきではないかと思う。テントで、おむつ交換台、ベビーキープ、授乳の場所があったりというような事例は、少し研究させていただきたい。

質問 観光案内パンフレット等に、「こどものえき」の掲載がないのは何故か。



こどものえき

答弁 掲載の認識が低かった。縦割り行政の弊害の一端をご指摘いただいたものと深く反省をしている。新たに作成する場合は記載する。

安心な高齢者の暮らしは維持できるのか

質問 4月1日から始まる介護予防・日常生活支援事業は、これまで受けていたサービスは、継続して受けられるのか。

答弁 みなしサービスとして継続して受けられる。

質問 利用者負担はどのようになるのか。

答弁 現行の自己負担額と同額か、それ以下になると思う。

これまでの定額制から月の利用回数に応じた支払い方法に改まるので利用者負担が軽減されると予測している。

質問 今後、介護予防に重点を置く施策をとられるが、クリオンプル以外での施設の活用について伺う。

答弁 市民団体の皆様や関係機関と連携を図り、より身近な小さな地域での施設を活用して、介護予防教室・健康講

話・個別相談などの集まりの場を実施していきたい。

質問 高齢者の運転免許証返納後のサポートが必要と思うが、その対策について伺う。

答弁 調査で、うちから出歩く際の交通手段を心配している方が多いことが分かった。今後、公共交通政策が大変重要になる。

予算執行の対応は万全か

質問 依存財源が多い中で、補助金としての支出が多い。事業の検証、精査は適正にされているか。

答弁 継続する補助金は十分な検証を行い、新規のものは十分な精査を行っている。

答弁（代表監査委員） 必要性、有効性、時期、経費の額の妥当性、実績報告書に基づいて精算報告は確実に行われているか審査している。27年度は適正であった。

質問 予算の適正な執行、政策実現には職員の士気の高揚が必要と思う。職員は日常業務に加えイベント開催時の動



3B体操 みんなで楽しく健康づくり

員もある。対応はどうか。

答弁 適正化計画による職員の削減は有効か。

答弁 人事管理上、大変重要な質問と受け止めている。職員が多く業務を抱え込んでいないかなど考慮した上で時間外勤務命令を出し、勤務時間に応じた手当を支給している。休日出勤は、平日に振り替えて休むようにしている。

定員適正化計画通りに削減を進めた場合、果たして、必要な職員数を確保できるか心配である。

（大石温基記）

用語解説

・3B体操…ボールやベル等の用具を使い様々な音楽に合わせて行う体操

市民生活重視の市政に転換を図れ

高久昭二 議員

市長 市民生活を支える市政は同感である

市民生活重視の市政に転換を図れ

質問 日本経済新聞「まちの家計、ここに注目」で、仙北市が国交付税依存率全国5位（49・75％）であり、大型プロジェクト、ハコモノ事業に偏重せず、市民生活重視の姿勢に転換を図るべきでないか。

答弁 市民の足元を照らし、市民生活を支える姿勢は議員と同感である。

子育て支援を前向きに

質問 子育て支援、学校給食費一部助成を12月定例議会で質問したが、前向きに対応できないか。

答弁 給食費滞納問題を踏み越えて、給食費無償化はいかがなものか。再検討が必要である。

高齢者等の交通弱者対策は

質問 高齢者、障害者、運転免許返納者等の通院や買物交通手段確保と高齢者支援策について伺う。

答弁 高齢者支援は西木温泉クリオンプールの4月開業による健康増進と、今後高齢者の温泉入浴無料化に向け検討したい。更に、市立角館総合病院開業時、民間バス事業、デマンド型乗合タクシーの利便性を高め、運転免許返納者向け循環無料バス運行等検討したい。

「角館冬がたり」の対応はいかに

質問 角館冬季観光の目玉である武家屋敷、岩橋家の「角館冬がたり」について、角館歴史案内人組合へ市職員から

突然「正面入口は身分、位の高い方だけが使用していた。」更に、お金にからむ言動をされたので活動が一時休止された事をどう考えるか。
答弁 教育委員会の認識の欠落、不適切な言動により、多くの方々にご迷惑をお掛けしお詫びする。

角館小学校放課後児童クラブへの通所安全対策は

質問 角館小学校放課後児童クラブ1年生をスマイルバスで児童館へ送ることを3月で休止するのか。

答弁 角館小学校児童クラブ全員の安全が確保されるよう、バス利用について、今後検討したい。

クニマス未来館を設計した事務所の違算・遅延損害金の支払いは

質問 クニマス未来館を設計した事務所の違算・遅延損害金（2102万円）について、昨年「覚書」が双方で交わさ

れたが、いまだ仙北市に支払われず、逆に設計事務所から弁護士を通じ支払拒否回答書が市に提出された。今後、徴収に向け、どう対応するのか。
答弁 市、設計事務所双方が交わした「覚書」は社会通念上、設計事務所が支払い、負担を約束した内容であり、今後、市の顧問弁護士と協議し対処したい。

（門脇 民夫記）



■「角館冬がたり」歴史案内人組合との協議を



■完成が待たれるクニマス未来館



門脇民夫 議員

道の駅開設の動きが見えないのは何故か

市長

今年度、道の駅や直売施設の課題の調査・分析を行う

羽根ヶ台地区に道の駅を

質問 道の駅開設について、昨年の9月市内の方々から議会に請願書が提出され採択している。これまで何人かの議員が開設についての一般質問をした。その都度市長は前向きに検討すると答弁してきたが、開設に向けての動きが見えないのは何故か。

答弁 以前道の駅構想については、国道105号線沿いの既存施設について担当官を招いて勉強会を実施したが事業化は厳しいとの話があった。昨年の請願書は道の駅に付帯する直売施設に関するものが願意と理解している。直売施設は観光振興や交流人口の増加などに経済好循環の可能性がある。29年度はこうした課題について調査・分析を行って次の段階に進んでいきたい。

質問 県は船舶によっても国外からの観光客の誘致を図ろうと、秋田港に大型クルーズ船が容易に接岸できる埠頭の整備を進めるとしており、今年度は24回のクルーズ船の来港が予定されている。クルーズ船の乗客はバスで県内を巡

る。バスの駐車場を含め多数の観光客を受け入れる昼食施設が市内にはないので道の駅を開設して整備を進めるべきでないか。

答弁 県が進めるクルーズ船の寄港による観光客の移動はバスが考えられる。バス駐車場として桜並木駐車場、田沢湖畔駐車場、民間駐車場等での対応が可能ではないかと考えている。これらの駐車場での対応ができなくなるのは5年以上先と考えている。市が現在取り組もうとしている道の駅・直売施設の調査・検討では、駐車場スペースについても検討が必要と思っている。

学校適正化配置に関する提言書について伺う

質問 学校は災害時の避難場所や防災拠点としての役割を果している。加えて運動会や発表会等で地域のコミュニケーションや活性化に大きく寄与し、地域の核としての役割も果しており、行政効率だけではなく総合的な地域づくりの拠点としての役割等について広く地域住民からの意見を学校適正化配置計画に反映するべきでないか。

答弁 学校が地域の防災拠点や活性化にはたしている。役割について十分考慮することは大変重要な視点であり、行政効率を盾とした議論など、あつてもよいはずはないと強い思いを持っている。しかし、これらが、児童生徒の教育環境より、さらに優先して考慮すべき項目であるかといえ、私はそうではないと思う。何よりも大切なことは児童生徒の教育環境を第一に考慮することが、一番に重要な判断材料になるべきでないかとの思いを持っている。

(伊藤邦彦記)



道の駅の開設に向けて (神代羽根ヶ台地区)



学校は地域のコミュニケーションの場と活動拠点

球春、来たる。 落合球場の不備の改修を急げ

伊藤 邦彦 議員



市長 29年度予算で早期に対応する。

市営落合球場の整備 は怎么样了ののか

質問 昨年9月議会の一般質問の中で、同球場の飲料水の不具合により、各種大会が開催できないという問題とカウントボードがいまだに改修に至っていない問題を質問した。平成29年度当初予算に反映されたのか。

答弁 2つの問題を改善すべく、どちらの改修費も新年度予算に計上している。飲料水に関しては新角館総合病院付近から延伸する計画である。

質問 大曲仙北地区には、9つの公認球場があるが、電光掲示板が整っていないのは、我が市の2球場のみである。誠にさみしい限りだ。

この度の落合球場の改修に向けた基本設計に組み入れられないのか。

答弁 落合球場の施設の機能診断を行い、改修に向けた基本設計を作成したいと考えている。電光掲示板についても財源を含め、検討したい。



■早期改修が待たれる落合球場

神代地区の飲料水問題の改善は

質問 飲料水で長きにわたり

ご苦労のあった神代地区。その苦勞を解消するために合併以来西明寺低区浄水場から神代地区に給水工事が行われている。西明寺低区浄水場で神代地区をどこまでカバー出来るのか。

答弁 現段階では岡崎・東前郷・角館東前郷の一部、梅沢地区の一部まで進んできています。

また、今年度に機構改革による限界水量の基準見直しがある

なされ、神代中学校、未給水地域として残っていた角館東前郷地域の一部分が全て西明寺浄水場から給水可能となる。

質問 未普及地区解消の為に水源地をどこに求めるのか。抱返り溪谷に奥羽山脈から流れ落ちる有望な水源があると聞くが、検討したのか。

答弁 神代黒倉地区に優秀な水源地を確保している。水質検査でマンガンが含まれることを確認しているが、現在の高性能ろ過器で問題はクリアできると確信している。

質問 神代地区全域に良水が行き渡るには、あと何年かかるのか。

答弁 まだまだ解決しなければならぬ課題は多い。残った生田・小松地区をどのようにするのか。また、企業会計であることから加入率・採算性等の問題もある。それらをクリアしながら、平成36年度を目途に完成を急ぎたいと思っている。

カヌーコースは 広久内地区の方が 適地ではないのか

質問 生保内カヌーコースは過去に2度豪雨による流失の被害を受けている。この事情により関係団体から角館広久内(あきた芸術村)付近に移転の要望書が出されている。

それにもかかわらず、3度同じ場所にコースが作られている。その経緯について伺う。

答弁 私も同感であり、要望に添うべく努力をした。しかし、仙北地域振興局からは「河川に構造物を作ることは許可できない」との回答であった。誠に残念である。

(佐藤 大成記)



■カヌーコース実現にむけて(広久内地区)